

# 来る 30 周年に思う

NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会  
代表 浅野正敏

「天覧山・多峯主山の自然を守る会」が設立された 29 年前（1995 年）は、1 月に阪神淡路大震災、3 月に地下鉄サリン事件と世の中を驚かせる出来事が続いて起きた年でした。そんな中、飯能の緑のシンボル地である天覧山から多峯主山一帯に 72.9ha もの大規模住宅分譲地計画が飯能市へ提出されたのです。これに異を唱える私たちは、署名活動、そして地方自治法に則った直接請求で「天覧山・多峯主山周辺の自然環境保全条例(案)」を作成し議会に提出するといった計画変更を求める最大限の行動を起こしたのです。



多峯主山頂での開発変更の署名活動（'95 年）

しかしながら当時の市議会は「保全条例案に賛成少数」ということで否決、飯能市は 10 万人都市構想の名の下に丘陵地の住宅開発を積極的に進めるとして開発同意書を県に提出したため許可が下り、工事着手ということになってしまいました。

ところが事態をひっくり返す大事件が起こったのです。なんと開発予定地のど真中にオオタカが営巣していることを会員が発見したのですが、その後間も無くその巣が何者かによって壊れてしまったのです。当時オオタカは希少種として保護対象動物に指定（現在は指定外）されてい

ましたので、全国ニュースになり注目を浴びることになったのです。環境庁（当時）にまで訴えかけたことにより「環境アセスメント」の再調査ということになり、開発着手が延期されることになりました。



環境庁でのオオタカ保護の申入れ（'96 年）

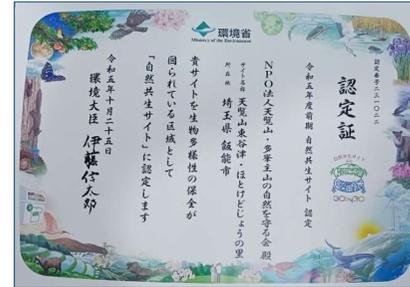
その後、執拗に行政、事業者働きかけるとともにこの地の自然の豊かさを証明すべく専門家の協力を得ながら市民による「天覧山・多峯主山自然環境調査報告書」をまとめ上げ公表しました。そして、もっと多くの人にこの地の素晴らしさを知っていただくため毎月「ふる里散歩」と称して自然観察会を行なってきました。

そうした活動を続ける中、10 年後（2005 年 1 月）に、開発事業者であった西武鉄道から開発計画中止が発表されたのです。まさにオオタカは「救世主現る」という奇跡を起こしたのです。

その後、西武鉄道は分譲地開発予定地を「飯能・西武の森」として市民との対話をしながら森づくりを行なっていくとし、同時に飯能市も「10 万人都市構想」の看板を降ろし自然環境保全へと大きく舵を切ったのです。

2003 年に設立された「はんのう市民環境会議」において、当会が主導的な役割を担う「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」では、小学生による稲作体験や森林教室など環境学習の場としても里山保全の形が広がって行きました。

そして昨年（2023 年）には「飯能・西武の森」と当会が所有する「東谷津ほとけどじょうの里」が県下初となる国の自然共生サイトに認定され、永続的に豊かな自然環境エリアが残っていくという約束が果たされました。



自然共生サイトの認定証

来年 2025 年には 30 周年を迎えることとなりますが、当会発足時から今日まで活動に力を注いできました（故人を含めて）皆様の「天覧山から多峯主山一帯の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ」という想いが確実に実を結んできていることを共に喜びたいと思います。

## てんた活動情報

### ○彩の国埼玉環境大賞受賞

当会は、本年 2 月、2023 年度の彩の国埼玉環境大賞にモニタリング調査による順応的里山管理の取組や自然共生サイトの認定などを踏まえて応募し、大賞を受賞しました。

この賞は、埼玉県が 1999 年度に設置したもので四半世紀の歴史があり、2023 年度は 69 団体の応募の中から 2 団体が大賞を受賞しました。

当会は 2008 年度にも同賞を受賞していて、何度も応募する意味があるのかというお話もあります。前回の受賞後に東谷津ほとけどじょうの里を取得しようとした時に、対象地が農地のため農地転用・所有権移転（農地法 5 条）の許可が必要となりましたが、あまり前例のない NPO への許

可について「環境大賞を受賞した NPO なので許可しても問題ないと判断した」ということを県の担当機関から後に伺いました。



授賞式 左から大野知事、浅野代表、大石理事

当会はこれまで各種の受賞歴がありますが、こうした受賞は連携協力相手を広げたり、入会者の不安を払拭したりする効果がありますので、今後とも応募していきたいと考えています。

### <受賞歴>

- ・2002 年(財)あしたの日本を創る協会「ふるさとづくり賞」振興奨励賞
- ・2008 年彩の国埼玉環境大賞
- ・2013 年(公財)日本自然保護協会「沼田眞賞」
- ・2017 年国連生物多様性の 10 年日本委員会「生物多様性アクション大賞」入賞

### ○てんたの定例的な会議・作業・調査

定例的な活動は以下のとおりです。中止や変更・延期もありますので、参加される場合は当会のメーリングリストで確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

名称	日時	集合場所	備考
定例会・理事会	毎月 第2・4金曜 19:00~21:00	富士見地区行政センター	
東谷津作業	毎月 第2・4日曜 10:00~14:00頃	東谷津	雨天中止
天覧山谷津作業	毎月後半の土 or 日 9:30~11:30(予備日有り) *6-9月は8:00~10:30	現地の田んぼ(事務局:市環境緑水課)	雨天中止
モニ1000植物調査	毎月11日 8:30~昼頃	能仁寺山門前	雨天中止
モニ1000チョウ調査	4-11月 第1土曜 10:00~11:00頃	能仁寺山門前	晴天以外中止